

令和5年度 学校評価報告書

長崎市立高尾小学校

1 教育目標

「自律・共生」
 自律：自ら考え判断し行動する子供の育成
 共生：多様な他者を尊重し共に生きようとする子供の育成

2 学校経営方針

一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする。

3 重点目標

- ①確かな学力【市個別施策：確かな学力の向上】…学習規律の定着と、主体的・対話的で深い学びの実現
- ②豊かな心【市個別施策：健やかな心と体の育成】…心の教育の推進と生徒指導の充実
- ③健やかな体【市個別施策：安全・安心に学べる教育環境づくり】…人的環境の整備と特別支援教育の充実
- ④信頼される学校【市個別施策：家庭・地域との連携】…双方向の情報発信と共有

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	96	85	100	全項目で昨年度より上昇。「教育目標」では、児童評価で8pt、保護者評価で7pt上昇した。「自律・共生」の教育目標で2年目となり、広く浸透してきている。今後も保護者への情報発信を増やし、一緒に取り組む気運を醸成したい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	94	92	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	84	84	88	保護者評価と教職員評価では全項目で、児童評価でもほとんどの項目で上昇した。「悩みや相談に親身に対応」の児童評価で93% (6pt上昇)、保護者評価で85% (7pt上昇)。「いじめ防止対策」の児童評価で96% (5pt上昇)、保護者評価で85% (8pt上昇)。教職員一人一人が子供に寄り添いながら相談に乗り、また学校が組織的に対応していることが評価されている。保護者評価では、「挨拶」76% (8pt上昇)、「特別支援教育」79% (13pt上昇)と80%を切っている。今後も情報発信に努め、理解を広めることが必要。
		挨拶をよくしている	91	76	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	84	86	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	93	85	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	96	85	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	90	86	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	95	89	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	91	79	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	93	85	100	
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	98	92	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	81	67	88	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	95	70	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		93				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	96	91	100	ほとんどの項目で上昇した。「基本的な生活習慣」の児童評価77%（横ばい）、「体力向上」の保護者評価76%（3pt上昇）と80%を切っている。クラスルーム「学校掲示板」を活用するなど、児童に対する啓発を進めていく。また、コロナ禍で下がった体力向上のための取組を委員会主導で提案していく。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	77	85	81	
		体力向上に努めている	86	76	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	96	91	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	88	93	100	全項目で昨年度より上昇した。保護者評価では全て90%を超え、「信頼される学校」として高評価をいただいた。学校からの諸連絡や児童の様子などについて、「tetoru」による配信やHP更新を増やしたことで、「情報提供」の保護者評価96%（9pt上昇）につながった。次年度も積極的に情報発信していく。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	96	96	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	97	93	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	94	91	100	全項目で昨年度より上昇。安全点検を基に、庁務員・事務職員を含めた全職員で環境整備に取り組んだ結果と捉える。次年度も継続していく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○児童・保護者・教職員のアンケート結果によると、ほとんどの項目で昨年度より評価が向上していた。このことは、これまでの一つ一つの取組が成果を上げ、学校全体として良い方向へ進み始めていることを示している。この流れを確実なものにしていきたい。

○主な課題は「積極的な挨拶」「特別支援教育の充実」「家庭学習の習慣化」「キャリア教育の充実」「基本的な生活習慣の定着と体力向上」の5つ。

○「積極的な挨拶」に関しては、学校外での挨拶がまだ十分でないとの声をいただいている。「あいさつ日本一」を合言葉に、時と場に応じた適切な挨拶を指導していく。「特別支援教育の充実」「家庭学習の習慣化」「キャリア教育の充実」の3つに関しては、保護者向けの情報発信を増やすことで理解を促していく。「基本的な生活習慣の定着と体力向上」に関しては、児童の委員会活動に投げかけることにより、主体的な取組による向上を図りたい。

6 学校関係者評価

平均3.5(昨年度3.3)の評価をいただいております。全体的に肯定的な評価であった。

一方で、「ルールやマナー」「挨拶」「あ・は・は運動」の体現ということについては、2の評価をされた方もおられ、生活指導面の課題を感じている。

○日々、子供たちのためにご尽力いただき、ありがとうございます。

○メールやHPを通じての情報発信をありがたく拝見しています。

○地域と一体となつての活動に力を入れていると感じています。その姿は子供たちにもきっと伝わっていると思います。今後も地域と協力した体制を維持してください。

○育成会と校区コミュニティ協議会の連携は大切だ。

○アフターコロナにおける地域住民と学校との関わり方(交流)を検討してほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○本校の生徒指導面での課題は、その要因や現象も多様化し、複雑化している。そこで、保護者との関係性の向上を図るために、今年度も学校での児童の様子について保護者と日常的に連絡を取り合ってきた。また、管理職を含めた教職員や支援員を総動員するとともに、SCやSSW、児童相談所・子育てサポート課・浦上署などの関係機関と連携し対応した。その成果として、生育環境に困り感を抱えた児童についても支援措置を進めることができた。これからも、計画的に児童理解研修と定期的な評価、PDCAサイクルに則った見直しを行い、児童に寄り添った関わり方を全教職員に浸透させ、チーム学校としての指導體制を整えていく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。